

## ○ 「 MQL 4 ; 基礎の確認 (その3) 」

- ・アメンボです、  
しばらくぶりにノウハウ集 (基礎の確認) への追加です。  
(既に知れ渡っている内容でしたら、すみません。アメンボはMQL新参者ですゆえ)
- ・本ノウハウは、「Bollin\_EA\_08.mq4」開発過程の試行錯誤の中で理解・確認した内容です。  
つくづく感じるのは、MQLはC言語と同じで奥が深い、その割りに高度な解説書 (紙版) が少ない。  
「WEB上の資料って、ぶつ切り状態か、はたまた巨大すぎて、意外と読みづらい」と、感じるのはアメンボだけか？
- ・機能確認用のサンプルコード類もダウンロード用に掲載しておきました。

## 目次：

---

1. ファイル・アクセス可能フォルダについて	
(1) 「ファイル・オープン関数」と「アクセス可能フォルダー」の関係	・・・ 2頁
(2) 「EA実行チャート (モード)」と「アクセス・フォルダ」の関係	・・・ 2頁
(3) 動作結果のファイル出力例	・・・ 2頁
(4) 動作確認用EAコード	・・・ 3頁
2. エクセル・ファイルにデータを書き込む	
(1) 動作確認用コード (スクリプト)	・・・ 4頁
(2) 結果；	・・・ 4頁
3. カウント・ダウン方式への対応EA	
(1) EAを作成する上での問題	・・・ 5頁
(2) 一つの解決方法	・・・ 5頁
(3) 実際に試してみる	・・・ 6頁
(4) 動作確認用EAコード	・・・ 7頁

---

## 1. ファイル・アクセス可能フォルダについて

- ・今回は、実用的で且つ基本的なことだけをまとめることにしました。  
(詳細にまで立ち入ると、奥が深くてアメンボの手には負えません)

### (1) 「ファイル・オープン関数」と「アクセス可能フォルダー」の関係

ファイル・オープン関数	アクセス可能な 「¥MetaTrader 4 at ブローカー名」 以下のフォルダー・パス名
FileOpen()	¥experts¥files
	¥tester¥files
FileOpenHistory()	¥history¥ブローカー server_name

- ・要約すれば、「FileOpen()」は実行チャート (モード) により決まる、  
「¥experts¥files」か「¥tester¥files」フォルダ内のどちらかの、ファイルに  
アクセスすることになります。

### (2) 「EA実行チャート (モード)」と「アクセス・フォルダ」の関係

- ・今回は最も実用的な「EA」実行によりアクセスする場合だけに限定します。

稼動	オープン関数	リアル (デモ) チャート	バックテスト (チャート) モード	オフライン (offline) チャート
EA	FileOpen()	¥experts¥files	¥tester¥files ※2	¥experts¥files ※1
	FileOpenHistory()	¥history ¥ブローカー server_name	¥history ¥ブローカー server_name	¥history ※1 ¥ブローカー server_name

※1 ; init()は動きますが、start()は動かない。(tickが来ないから当然か！)

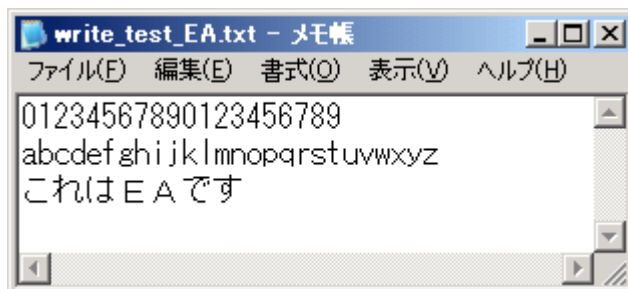
もっとも、アメンボのように「オフライン・チャート」で、EAを動かしてみようなんて、  
へそ曲がりはいないかもしれませんが。

※2 ; 理由は不明ですが、「バックテスト」では「PlaySound()」が動作せず。

(確かに動作しないほうが良いけど、理由が気になる)

### (3) 動作結果のファイル出力例

- ・ファイルを書き込みモードでオープンして、何かを書き込むと、  
「experts¥files」フォルダの下に、指定した「write\_test\_EA.txt」ファイルが、  
①存在していない場合は、新たにファイルが生成されて下記のように書込みがされる。  
②すでに存在していた場合は、一旦内容がクリアされてから新たに書込みがされる。



## (4) 動作確認用EAコード

```

//+-----+
//|                                     |
//|                                     |
//|                                     |
//|                                     |
//+-----+
//
int count;
int outFile;
//
int init()
{
    // 「experts¥files」用のOK品
    outFile=FileOpen("write_test_EA.txt",FILE_WRITE|FILE_CSV);
    // 「history¥server_name」用OK品
    //outFile=FileOpenHistory("write_test_EA.txt",FILE_WRITE|FILE_CSV);
    //string str0="init()部は通過した";
    //FileWrite(outFile, str0);
    count=1;
    //
    return(0);
}
//+-----+
//| expert deinitialization function |
//+-----+
int deinit()
{
    FileFlush(outFile);
    FileClose(outFile);
    return(0);
}
//+-----+
//| expert start function           |
//+-----+
int start()
{
    if(count==1)
    {
        string str1="01234567890123456789";
        string str2="abcdefghijklmnopqrstuvwxy";
        string str3="これはEAです";

        FileWrite(outFile, str1);
        FileWrite(outFile, str2);
        FileWrite(outFile, str3);

        FileFlush(outFile);
        FileClose(outFile);
        //PlaySound("news.wav");
        count=count+1;
        PlaySound("news.wav");
    }//if(count==1)
    //PlaySound("news.wav");
    return(0);
}
//+-----+

```

## 2. エクセル・ファイルにデータを書き込む

- ・データ間のデリミタを“¥t” (タブ) とすれば、エクセルファイルに出力することも可能です。
- ・以下にチェック用のサンプル例を示します。

### (1) 動作確認用コード (スクリプト)

```
//+-----+
//|                                     excel_write.mq4 |
//|                                     amenbo          |
//|-----+
int start()
{
    double data[6]={2.1, 3.1, 5.5, 12.0, 80.222, 8823.11, 7.7, 8.8, 9.9, 0.0};
    int outFile=fopen("write_test.xls", FILE_WRITE|FILE_CSV, "¥t");

    for(int i=0;i<=9;i++)
    {
        fwrite(outFile, i, data[i]);
    }

    fflush(outFile);
    fclose(outFile);
    PlaySound("news.wav");
    return(0);
}
```

### (2) 結果 ;

- ・「experts¥files」フォルダの下に「write\_test.xls」ファイルが、
  - ①存在していない場合は、新たにファイルが生成されて下記のように書込みがされる。
  - ②すでに存在していた場合は、一旦内容がクリアされてから新たに書込みがされる。

	A	B	C	D
1	0	2.1		
2	1	3.1		
3	2	5.5		
4	3	12		
5	4	80.222		
6	5	8823.11		
7	6	7.7		
8	7	8.8		
9	8	9.9		
10	9	0		
11				
12				
13				

### 3. カウント・ダウン方式への対応EA

- ・EAが「カウントダウン方式」に対応するための注意点を記述することにしました。  
(理由は、最近はこの方式を採用する「ブローカー」が増えてきたためです、既に殆ど??)

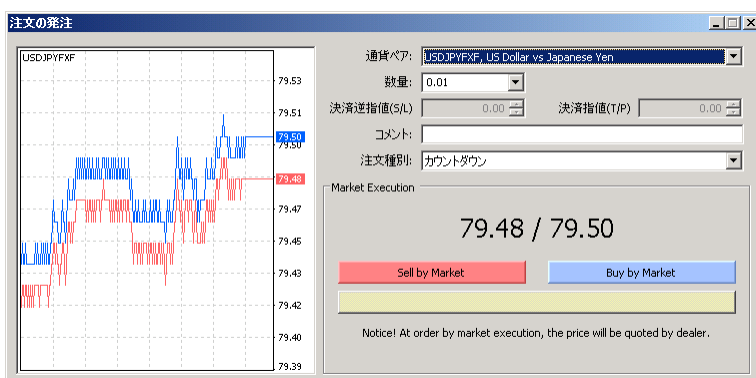
#### (1) EAを作成する上での問題

- ・ブローカーの注文種別が「カウントダウン方式」の場合は、  
EA中で、以下のタイプのオーダーを発行すると「エラー」になることはご存知と思います。

`OrderSend(Symbol(), OP_BUY, 1, Ask, 3, Ask-25*Point, Ask+25*Point, "My_order", 20120608, 0, Green);`

「スリップページ、損切りレベル、利食いレベル」を初めから注文に組込んでおくタイプです。

- ※カウントダウン方式では、この「スリップページ、損切りレベル、利食いレベル」を受け付けてくれません。(と、言うか、概念が存在しないとされた方が正解)



- ・EAで注文を発行しても、「130 ; INVALID\_STOPS」エラーを返してきて動作しません。  
例 ; 2012.06.08 23:28:08 check\_count\_down USDJPYFXF,M5: order error : 130

#### (2) 一つの解決方法

- ・下記のステップで注文を出します

##### ①第1ステップ ;

「スリップページ=0、損切りレベル=0、利食いレベル=0」で注文を発行

`ticket=OrderSend(Symbol(), OP_BUY, 1, Ask, 0, 0, 0, "My_order", 20120608, 0, Green);`

##### ②第2ステップ ;

チケットNoで上記の注文を選択

`OrderSelect(ticket, SELECT_BY_TICKET);`

##### ③第3ステップ ;

注文を修正する

`OrderModify(OrderTicket(), OrderOpenPrice(), stop_loss, take_profit, 0, Green);`

※「スリップページ」の設定は出来ませんが、まあよしとするしかないか。

※ところで北米のフォーラムでカウントダウン方式のことを検索しても、

「Straight Through Processing bridge with Bank」と表現しているようで、

「count down」で検索してもさっぱり要領を得ませんでした！、何故？

## (3) 実際に試してみる

・アメンボは、正直言いますと、このタイプの注文方法(ストップロス等を事前設定する)は殆ど使ったことが無いので、原理を確認するだけのコードを作って確認してみました。

(コードは、次頁以降のサンプル内容を参照ください)

手順; ①「check\_count\_down」EAをセットする

②注文が発行されか、エラーがでたらEAを外す

③注文履歴を確認する(エラー発生は除く)

結果;

(-1)「カウント・ダウン方式のオーダーEA」コードの結果・・・注文OK



注文番号	時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L	T/P	時間	Price	スワップ	損益
10216601	2012.06.08 23:14	buy	1.00	usdpyxf	79.45	79.13	79.63	2012.06.08 23:17	79.46	0	1 000
損益計: 1 000 クレジット計: 0 入金計: 0 出金計: 0											

## ○○○○.com Japan

Account: 179420 Name: amenbo Currency: JPY 2012 June 8, 23:18

## Closed Transactions:

Ticket	Open Time	Type	Size	Item	Price	S / L	T / P	Close Time	Price	Commission	Taxes	Swap	Profit
10216601	2012.06.08 23:14	buy	1.00	usdpyxf	79.45	79.13	79.63	2012.06.08 23:17	79.46	0	0	0	1 000
Closed P/L: 1 000													

## Open Trades:

Ticket	Open Time	Type	Size	Item	Price	S / L	T / P	Price	Commission	Taxes	Swap	Profit
No transactions												
Floating P/L: 0												

## Working Orders:

Ticket	Open Time	Type	Size	Item	Price	S / L	T / P	Market Price
No transactions								

## Summary:

Deposit/Withdrawal:	0	Credit Facility:	0
Closed Trade P/L:	1 000	Floating P/L:	0
Balance:	485 000	Equity:	485 000
		Free Margin:	485 000

(-2)「従来方式のオーダーEA」コードの結果・・・注文NG

時間	メッセージ
2012.06.08 23:28:19	check_count_down USDJPYFXF.M5: uninit reason 1
2012.06.08 23:28:19	check_count_down USDJPYFXF.M5: deinitialized
2012.06.08 23:28:14	check_count_down USDJPYFXF.M5: process completed
2012.06.08 23:28:08	check_count_down USDJPYFXF.M5: order error :130
2012.06.08 23:28:02	check_count_down USDJPYFXF.M5: initialized
2012.06.08 23:28:01	check_count_down USDJPYFXF.M5: loaded successfully

※エラー「130」で動作しません。

## (4) 動作確認用EAコード ・ ・ 1つのコードで「コメントアウト」部位を変えて使用

&lt;カウント・ダウン方式のオーダーEA&gt;

```

//+-----+
//|                                     check_count_down.mq4 |
//|                                     amenbo             |
//|-----+
//
//
double stop_loss;
double take_profit;
int count;
//
int init()
{
    count=0;
    //Print("Point=",Point," : Digits=",Digits);
    return(0);
}
//-----
int deinit()
{
    return(0);
}
//-----
int start()
{
    if(count==0) {
//int ticket=OrderSend(Symbol(),OP_BUY,1,Ask,3,Ask-25*Point,Ask+25*Point,"My_order",20120608,0,Green);
    int ticket=OrderSend(Symbol(),OP_BUY,1,Ask,0,0,0,"My_order",20120608,0,Green);//(A)セット
    //
    if(ticket>0){
        stop_loss=Ask-25*Point;
        take_profit=Ask+25*Point;
        OrderSelect(ticket,SELECT_BY_TICKET);//(A)セット
        OrderModify(OrderTicket(),OrderOpenPrice(),stop_loss,take_profit,0,Green);//(A)セット
        Print("order OK ");
    }else{
        Print("order error : ",GetLastError());
    }
    //
    count=count+1;
    PlaySound("email.wav");
}else{
    PlaySound("alert.wav");
    Print(" process completed ");
}

    //Print("Point=",Point," : Digits=",Digits);
    //PlaySound("alert.wav");
    //
    return(0);
}
//=====
//一回だけオーダーを出す
//「カウントダウン方式」と「従来方式」で、注文が通るかを確認する。

```

<従来方式のオーダーEA>・・「130;INVALID\_STOPS」エラーとなる

```
//+-----+
//|                                     |
//|                                     |
//|                                     |
//|                                     |
//+-----+
//
double stop_loss;
double take_profit;
int count;
//
int init()
{
    count=0;
    //Print("Point=",Point," : Digits=",Digits);
    return(0);
}
//-----
int deinit()
{
    return(0);
}
//-----
int start()
{
    if(count==0) {
int ticket=OrderSend(Symbol(), OP_BUY, 1, Ask, 3, Ask-25*Point, Ask+25*Point, "My_order", 20120608, 0, Green);
        //int ticket=OrderSend(Symbol(), OP_BUY, 1, Ask, 0, 0, 0, "My_order", 20120608, 0, Green); //(A)セット
        //
        if(ticket>0) {
            //stop_loss=Ask-25*Point;
            //take_profit=Ask+25*Point;
            //OrderSelect(ticket, SELECT_BY_TICKET); //(A)セット
            //OrderModify(OrderTicket(), OrderOpenPrice(), stop_loss, take_profit, 0, Green); //(A)セット
            Print("order OK ");
        } else {
            Print("order error : ", GetLastError());
        }
        //
        count=count+1;
        PlaySound("email.wav");
    } else {
        PlaySound("alert.wav");
        Print(" process completed ");
    }

    //Print("Point=",Point," : Digits=",Digits);
    //PlaySound("alert.wav");
    //
    return(0);
}
//=====
//一回だけオーダーを出す
//「カウントダウン方式」と「従来方式」で、注文が通るかを確認する。
```

以 上